

建設経済常任委員会記録

日時 令和8年4月10日（金）

場所 第三委員会室

午前 10 時 42 分 開 会

○佐藤喜紀委員長 ただいまから建設経済常任委員会を開会いたします。

本日は全員出席であります。

直ちに本日の会議を開きます。

1 政策提言について

○佐藤喜紀委員長 本日の会議の目的は6月定例議会までに、次期政策提言のテーマを決定するため本委員会の所管事項の中から、今後2年間の活動軸となる分野を一つに絞り、その中で取り組むべき具体的なテーマ候補を三つ四つほどに選定したいと考えております。

前回の会議のおさらいになりますけれども、皆様からいただいたご意見をまず振り返りたいと思います。安藤委員、守屋委員からは産業振興として企業誘致と工業団地、地元での雇用確保の重要性を提案いただきました。それから田中委員、池田委員からは市民の関心が高いクロマツ砂防林の保全と再生ということでご意見をいただいております。武田副委員長からは、農業漁業を生かした食文化のブランドの強化などの視点からの意見もいただいております。

本日はこれらの意見等を事前配付しました資料をもとにさらに踏み込んだ協議を行いたいと思います。事前資料では事務局がこれら皆様の意見を調整し、産業振興、交流拡大、都市機能の三つの枠組みで提示をしましたが、まずは本委員会がどの分野に集中すべきかを決定したいと思います。資料の枠組みにこだわらず、前回の発言内容や新たな視点も含めて、今、酒田市にとって最も優先度が高いと考える分野はどの分野になるのかご意見を伺いたいと思います。

前回同様、皆さんから意見をいただきたいと思います。ご意見をいただきながら板書の方にメモを取らせていただきたいと思います。

市原栄子委員お願いします。

○市原栄子委員 前は急だったので、何も考えられてなくて、板書の前回の振り返りに名前を出されておりましたが、今回はちゃんと予習してまいりました。私としましては産業振興、若者・女性にとって魅力的な雇用創出と賃金向上ということで、特に女性が働くことに対して、酒田市がどのようになっているのかということ、若い人たちが働ける場所、特に女性です。市長も女性が日本一働きやすいまちづくりということを言っているということであれば、女性たちにアンケートをとっていき、高校生など若い人の声を聞いていく。そして酒田市には魅力的な仕事がないんだみたいなことを言われていますけれども、そうじゃなくて、あるけれどもなぜ選ばれていかないのか。そうしたこともいろんな市民と話し合いながらやっていけるのではないかと考えています。

○佐藤喜紀委員長 ありがとうございます。それでは齋藤直委員、お願いします。

○齋藤直委員 私もやはり人口減少が最大の課題だと思っています。そんな中でやはり産業振

興が必要なのかなと感じております。2月の下旬に商工会議所の方から要望書が提出されておりました。皆さんのところにも共有はなっているはずですが、重点項目として43項目、そのうち、地域経済を牽引する商工業が元気なまちというところが大項目の1番に入っておりました。やはりここで働けるという人口減少対策に対しても、産業振興というのは非常に大きい課題なのかなと思っておりますので、産業振興を1年半かけてしっかり勉強して政策提言として持っていければいいかなと思っております。

○佐藤喜紀委員長 ありがとうございます。それでは田中斉委員、よろしく申し上げます。

○田中斉委員 前はクロマツ林と言いましたが、もう相当切るのは先行しています。ただ苗がなくて植えられないという現状は、県でも協議会を作って、ボランティアを集めてやるという流れにはなっておりますので、それよりはさっき市原委員も言っていますが、給与格差があって人が来ないのは当たり前だと言われることがあります。保育士で東京都と酒田市とでは140万円年収が違いますから。そういったところもただ請求してもらえるのであれば上げればいいのかと思うんですが、なかなかそうもならないそういった格差の部分が一番と、あとは洋上風力も果たして5,800億円ぐらいちゃんと酒田に落ちるのかどうか、その2点で皆さんで考えてもらえればと思います。どっちかという給与格差ですが、洋上風力はろくに説明を受けていませんから、市民が知らないというのが現実だと思います。勝手にできて勝手にいなくなるのではなくて、経済にちゃんと落とし込むにはどうすればいいのか。漁業振興資金にしても、全然まだ話が見えてこない。入札しないとわからないって言うけれども、そんなことではないと思うんです。やっぱり説明不足で反対が起きているだけだし、やるのはいいけれども確実に酒田市に金が落とせるのか、それで給料が上げられるのか、何人雇用が増えるのか。出してくれない気もしますけれども、ただ金だけは落として欲しいなど、その2点だけはお願ひしたいと考えます。

○佐藤喜紀委員長 田中委員に確認ですが、分野分けていきますと産業振興ということによろしいですか。

○田中斉委員 お願いします。

○佐藤喜紀委員長 それでは池田委員、お願いします。

○池田博夫委員 書いてある項目全て、本当に大事な項目かなと思っております。そして私も以前にクロマツの保全ということで話はさせていただきました。今市街地を見ても、南の方の松林を見ても大分伐採されていますので、その辺はある程度、県の方でも理解をしてもらっているのかなと思っております。そういう意味では我々としては、産業振興もありますけれども、やっぱり農林水産業は担い手不足もだいぶ進んでいますし、そういった意味では今後本当にどういうふうな方向性を持って振興に携わっていけばいいか考えますと、その辺も少し力を入れていかなきゃいけないと思っている次第であります。農業振興もやっぱり酒田の産業ということで大事な産業でありますので、その辺も今後手をつけていかなければ大変問題になると思っておりますので、その辺をもう少し考えていかなきゃいけないかなと思っております。

○佐藤喜紀委員長 ありがとうございます。それでは安藤浩夫委員、お願いします。

○安藤浩夫委員 分野としては、産業振興で酒田港を核としたエネルギー関連産業の集積。これから洋上風力関連で企業誘致、若い方の働く場の確保、それをまず中心に考えていくべきではないかなと。洋上風力、リサイクルポートということで新規事業なり企業誘致、そのの

先進地に視察しに行くべきではないかと考えております。

○佐藤喜紀委員長 ありがとうございます。それでは守屋紀彦委員、お願いします。

○守屋紀彦委員 私も前回同様、産業振興を分野に選定したいと思います。具体的には酒田港やその洋上風力を見据えた、やはり次世代エネルギー関連産業の集積というようなテーマで検討したらいいのではないのかなと考えています。

田中委員からもありましたけれども、やはり建設経済常任委員会として、洋上風力を見据え、地域経済への波及をどう最大化していくかを掘り下げていくべきテーマなのではないのかなと考えています。

また、酒田港を核とした次世代関連産業の集積ということであれば、企業誘致の話にもなってきますし、若者や女性に選ばれるような企業というようなテーマにも繋がってくると思います。あと地元の企業の受注拡大などにもどう落としていくかというのは様々な議論に広げられると思いますので、この酒田港次世代エネルギー産業と関連した産業振興というテーマでいいのではないのかなと思っております。

○佐藤喜紀委員長 ありがとうございます。それでは武田副委員長よろしくお願いします。

○武田恵子副委員長 私は前回1人違うものを言ってみました。やっぱり同じものばかりみんなですごちで収束してしまうのもいかなものかなと思ったので、私はわざとそういうふうな発言をしました。でも根本的に頭の中にあるのは、酒田は農業を基盤とした生活をしている人たちが圧倒的に多いこと。そして県で唯一の貨物を積み出すことができる港町。そういうことで、長年我々世代より上の人たちは生きてきたと思います。でも工業、工場もありますので、それで生活している人たちもいるわけです。いろいろありますが、そういう基盤を考えたときに、何を私達が建設経済常任委員会としてやっていけばいいのかなというふうなことを考えました。私が議場で発言していることと言えば、産業振興①若者・女性にとって魅力的な雇用の創出と賃金向上、これがなければ人口減少は止まらないと思っています。これをやって、さてどこまで私達が掘り下げてできるのか、提言できるのかということを考えています。

結局、政策提言できなければ、やっても意味がないので、②、③、④はどうなんだろう。政策提言していったって当局の進め方をバージョンアップしてもらおうという意味を考えますと、私は④エネルギー関連産業の集積は、申し訳ないけどあまり意味がないんじゃないか。県がある中で、市当局に我々が政策提言したところで動けないのではないか。実は市民の会時代に、千葉県銚子に洋上風力発電の視察に行きました。漁協ともうまくやっていて先進的ですごいんだっていうことで行ってきたんです。当局のおすすりめもありました。そしたら今、銚子は撤退する企業が出ている流れの中で、これってどうなんだろうなっていうふうなことで、ちょっと私は④については足踏みをしたいなっていうふうな思っています。

⑥交流拡大も①産業振興に繋がっていると思うので、そこを考えて政策提言できるように、雇用の創出と賃金向上ということをやれば動くのかな。関係団体、例えば商工会議所の皆さんと意見交換する中で、賃金を上げるような体制に変わっていけば、やった意味があるのかなというふうなことを考えています。

○佐藤喜紀委員長 ありがとうございます。今、皆さんからご意見をいただいたわけですが、大きなくくりでの分野ということに絞りますと、皆さん産業振興を分野としては選択していただいたというふうに捉えさせていただきます。

大きな分野としては産業振興、その中からさらにテーマということで絞り込んでいくことになりましても、まずは産業振興という分野でよろしいですか。

(異議なし)

○佐藤喜紀委員長 それでは産業振興ということで分野の方は決まったわけですが、この中でもテーマに沿った中身でいけば、女性活躍ですとか給料格差、農林水産業の振興、それから酒田港の次世代エネルギーの集積等々のお話が出たわけですが、ほぼテーマも絞れたのかなというような感じをしているところです。この表にとらわれずに、産業振興の中でももっとこういった提言ができるのではないかなというような意見もあれば出していただきたいと思います。今出されましたこの三つの中から、さらに絞り込んでいくというような形でよろしいですか。

齋藤直委員。

○齋藤直委員 委員長からも話がありましたけれども、産業振興は①から④までありました。全てにおいてどれも重要なところだと思います。まだ頭の中の整理が追いついていないんですけれども、全てにおいていろんな団体の意見を聞きながら、1項目から4項目まで、少し細かい提言ができればいいのではないかなと感じております。

○佐藤喜紀委員長 ありがとうございます。いろんな角度の視点を皆さんお持ちですけれども、やはりできれば一つに絞らないと、政策提言もなかなか実現できないと思います。例えば産業振興の中で賃金格差のお話も出たわけですが、市内企業も稼ぐ力の向上でありますとか、農林水産業でいけば、やはり米価が高いと言いながら、ここ1か月ぐらいは毎週のように下落しているということもある中で、資材の高騰は未だに続いている。農林水産業と言っても幅広くなってしまうので、もう少し具体的に絞り込んでいく必要もあろうかと思えます。

安藤委員の方からは、港関係、これからの洋上風力やそれから先の企業誘致も含めて、視察先もそういうところに行くべきだというような話も出たわけですが、テーマについては皆さん方から議員間討議を行っていただいて、もう少し絞り込みをしていきたいと思えます。何か委員の皆さんからご意見ございませんか。

暫時休憩します。

午前 11 時 2 分 休憩

午前 11 時 24 分 再開

○佐藤喜紀委員長 再開します。

ご意見ありがとうございます。非常に多岐にわたる案が出ましたが、皆さんから出された対象あるいはキーワードの中からテーマを三つほどに絞りたいと思いますので、ご意見のある方よろしくお願ひします。

○市原栄子委員 やはり産業振興ということでいけば、具体的なテーマとしては、今酒田市が直面している若者の流出、女性がどんどん酒田市からいなくなっていった人口減少になっていくということで、この酒田市での若者や女性の雇用の問題、これについていろいろなところからご意見を聞く。また、当事者の女性、そして高校生や大学生からお話を聞く。そうした形でこの酒田市が魅力ある雇用ができるまちにしていくこと。あとは給与格差ですね。都会の方の給料がいいからということで若い人たちが出て行く。そうしたことに關してどうしたらいいか、酒田市が進行していくのかっていう部分での問題を掘り下げていきながらそれ

を提言としてまとめていきたいというふうに考えています。

○佐藤喜紀委員長 ありがとうございます。他にございますか。

守屋紀彦委員。

○守屋紀彦委員 具体的なテーマとしては、今の酒田港の方は洋上風力の基地港湾に指定されたということで、それに伴って洋上風力と酒田港を核とした次世代エネルギー産業の集積というようなことですね。全国には水素関連の集積ですとか、あとアンモニア関連等、様々な研究をされているところもございますので、そういったところも参考にしながら掘り下げていければなと思っております。

○佐藤喜紀委員長 ありがとうございます。他にございますか。

池田博夫委員。

○池田博夫委員 産業振興ということで、農林水産業の担い手不足解消と経営基盤の強化、そういうふうなものにもテーマとして取り上げたいなと思っております。というのはやはりこちらの方にも資料として書いてありますけれども、農業従事者の42.4%ほど、70歳以上であるということと急激な減少が予想される中、そしてまた、スマート農業導入や集落営農の合併、そういった法人化等による持続可能な体制がやっぱり必要ではないのかなと思っております。そういった意味ではそういうテーマで今後取り組むべきであろうと思っております。

○佐藤喜紀委員長 ありがとうございます。具体的な候補ということで三つほどに絞られたわけではありますが、政策提言のテーマ決定のためのヒアリング先、前は商工会議所と意見交換をしてはどうかという意見も出ましたけれども、意見交換先について何かご意見等ございますか。

○齋藤直委員 意見交換先ということでありますけれども、産業振興は全てが大変重要だと思いますけれども、テーマを決めてからヒアリングの候補を決めたらいいかと思えます。

○佐藤喜紀委員長 武田恵子副委員長。

○武田恵子副委員長 今の件ですが、資料のページ下を見ますと、「テーマの分野をどこに置くか。分野を一つに絞り」ここまで今決まりましたよね。「具体的なテーマ候補を3～4つ選定します。」ここまで言いました。「テーマ決定のためのヒアリング先をどこにするか」なのであって、テーマを決めてからではないということです。そこを確認します。

○佐藤喜紀委員長 今、齋藤委員と武田委員の方から意見が出ましたけれども、この資料にも記載されております中身で進めたいとは思っております。ただ先ほども申しあげましたとおり、6月のテーマ決定前に意見交換を行うには、今ここでヒアリング先とヒアリング内容、テーマ候補でいいわけですが、これを確定させて日程調整に入る必要があります。前回からの引き続きになるわけですが、商工会議所との意見交換を筆頭として考えたいと思っておりますが、テーマ候補が三つある中で、①②に関しては商工会議所で対応できる内容であろうと思えますが、③についてのヒアリング先の要望がございましたら意見をいただければと思えます。

齋藤直委員。

○齋藤直委員 先ほど私はテーマを決めてからヒアリング先っていうお話をしまして、武田委員の方からはテーマ決定のためのヒアリング先という話がここに書いてあるということでしたけれども、6月定例議会前の協議会、5月26日までにはテーマを決定しなくちゃいけないとなるともう1か月ちょっとしかないところで、例えば、二つ三つの団体と意見交換会をす

るのは現実的ではないのかなと思っておりますし、そこからテーマを決めるというのは時間が要ると思いますので、ここには書いてはありますけども、まずテーマを決めてからヒアリング先を決める方がいいと私は思っております。

○佐藤喜紀委員長 他にございませんか。

暫時休憩します。

午前 11 時 32 分 休憩

午前 11 時 45 分 再開

○佐藤喜紀委員長 再開します。

皆様の活発な意見ありがとうございました。本日の議員間討議の結果、次期政策提言の方向性がある程度まとまりましたので、最後に確認をさせていただきたいと思います。

まず今後の活動軸となる分野については産業振興に決定いたしました。

その中での具体的な政策提言のテーマ候補、一つ目として、若者女性の雇用確保と給与格差是正、二つ目としまして、洋上風力と酒田港を核とした次世代エネルギー産業の集積、三つ目としまして、農業の担い手不足解消と経営基盤の強化を選定いたしました。

これらのテーマの候補についての深掘りあるいは裏づけということでのヒアリング先としては、商工会議所の専門部2か所、それから農業委員会ということで決定いたしました。

本日決まりましたヒアリング先とは直ちに日程調整に入ります。5月中旬までヒアリング調査を完了させ、次回のヒアリング等を通じてさらに絞り込みを行い、6月の正式なテーマ決定へと繋げていきたいと思っております。

委員の皆様におかれましては大変タイトなスケジュールになろうと思っておりますが、調査へのご協力をお願いいたします。

これもちまして建設経済常任委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。

午前 11 時 47 分 閉会